



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。 2023年 4月26日朝刊

広がる交流「卓囲み会話」



同市の香貫、今沢地区などでは、健康マージャンを楽しむために週に1回程度、地元高齢者が集う。酒井会長は「男女差や体力差がないため、継続性があり、誰でも楽しめる」と話す。中石田自治会（同市大岡）でも、本年度から健康マージャンを定期的に開催する。同自治会の井口義房会長（70）は「交流を深める良い実践を通して健康マージャンのルール説明をする酒井勝武会長（右左）
11 4月中旬 沼津市大岡

健康マージャン シニア層ブーム

たばこ吸わない・お酒飲まない

沼津

「お金を賭けない、たばこを吸わない、お酒を飲まない」をルールにマージャンを楽しむ「健康マージャン」による交流の輪が沼津市の自治体を中心に広がっている。健康マージャンの普及を担う沼津健康麻将協会の酒井勝武会長（81）は「不健康のイメージもあるマージャンとは一線を画している。健康マージャンは高齢者の居場所作りが期待できる」と強調する。

道員になると感じた」と健康マージャンを活動に取り入れようと考えたきつかけを振り返る。
4月中旬、中石田公民館には健康マージャンのルール説明を受ける地元の高齢者約15人の姿があった。酒井会長の説明で実践を通してハイの組み合わせやゲームの進め方を学んだ。初めてマージャンをしたという主婦の松村初枝さんは「かなり頭を使うと思った。ルールが難しいけど、ハイの組み合わせを覚えたらおもしろそう」と声を弾ませた。
井口会長は「4人で卓を囲むことで会話が生まれ、仲間作りの輪が広がる。これから定期的に健康マージャンができるようサポートしたい」と意気込んだ。
健康マージャンは全国健康福祉祭（ねんりんピック）の正式種目。一般社団法人日本麻将協会などは1998年ごろから「健康麻将」と表記している。
（東部総局・天羽桜子）

脳機能活性化に効果

高齡者福祉に詳しい静岡県立大の佐々木隆志名誉教授（66）によると、健康マージャンは、高齡者の社会参加▽脳機能の活性化▽介護予防に効果的だという。
高齡者は単独の活動が多く、外出頻度が少ない。健康マージャンはグループで行う競技のため、「複数人と関係を持つ」「社会との架け橋になる」と話す。またルールが複雑で指先を動かすため、脳のはたらきの活性化が期待できるという。
「健康マージャンが外出のきっかけになれば、歩く時間が増加し、長い目で見れば介護予防になる。高齡者の生きがい活動にもなるだろう」と推測する。

①沼津市の自治体を中心に広がっている「健康マージャン」の活動には、どのようなルール上の特徴があるのか。記事を参考に説明しなさい。

②健康マージャンが正式種目になっている大会には、どのようなものがあるか。記事の中から漢字で抜き出して答えなさい。

③健康マージャンは、高齡者の方にとってどのような効果が期待されると考えられるか。記事中の専門家の方の意見を参考に、説明しなさい。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 伊藤 大介（静岡聖光学院中学校・高校 教諭）

（中学校／社会、総合）



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

解答例



記事を読んで、問いに答えなさい。 2023年 4月26日朝刊

広がる交流「卓囲み会話」



同市の香貫、今沢地区などでは、健康マージャンを楽しむために週に1回程度、地元高齢者が集う。酒井会長は「男女差や体力差がないため、継続性があり、誰でも楽しめる」と話す。中石田自治会（同市大岡）でも、本年度から健康マージャンを定期的に開催する。同自治会の井口義房会長（70）は「交流を深める良い実践を通して健康マージャンのルール説明をする酒井勝武会長（右）」

4月中旬、沼津市大岡

健康マージャン シニア層ブーム

たばこ吸わない・お酒飲まない

沼津

「お金を賭けない、たばこを吸わない、お酒を飲まない」をルールにマージャンを楽しむ「健康マージャン」による交流の輪が沼津市の自治体を中心に広がっている。健康マージャンの普及を担う沼津健康麻将協会の酒井勝武会長（81）は「不健康のイメージもあるマージャンとは一線を画している。健康マージャンは高齢者の居場所作りが期待できる」と強調する。

道員になると感じた」と健康マージャンを活動に取り入れようと考えたきつかけを振り返る。

4月中旬、中石田公民館には健康マージャンのルール説明を受ける地元の高齢者約15人の姿があった。酒井会長の説明で実践を通してハイの組み合わせやゲームの進め方を学んだ。初めてマージャンをしたという主婦の松村初枝さんは「かなり頭を使うと思っただ。ルールが難しいけど、ハイの組み合わせを覚えたらおもしろそう」と声を弾ませた。

井口会長は「4人で卓を囲むことで会話が生まれ、仲間作りの輪が広がる。これから定期的に健康マージャンができるようサポートしたい」と意気込んだ。健康マージャンは全国健康福祉祭（ねりんピック）の正式種目。一般社団法人日本麻将協会などは1998年ごろから「健康麻将」と表記している。

（東部総局・天羽裕子）

脳機能活性化に効果

高齡者福祉に詳しい静岡県立大学の佐々木隆志名誉教授（66）によると、健康マージャンは、高齡者の社会参加▽脳機能の活性化▽介護予防に効果的だという。

高齡者は単独の活動が多く、外出頻度が少ない。健康マージャンはグループで行う競技のため、「複数人と関係を持つ」「社会との架け橋になる」と話す。またルールが複雑で指先を動かすため、脳のはたらきの活性化が期待できるという。

「健康マージャンが外出のきっかけになれば、歩く時間が増加し、長い目で見れば介護予防になる。高齡者の生きがい活動にもなるだろう」と推測する。

①沼津市の自治体を中心に広がっている「健康マージャン」の活動には、どのようなルール上の特徴があるのか。記事を参考に説明しなさい。

例 「お金を賭けない、たばこを吸わない、お酒を飲まない」をルールにマージャンを楽しむ活動。

②健康マージャンが正式種目になっている大会には、どのようなものがあるか。記事の中から漢字で抜き出して答えなさい。

（ 全国健康福祉祭 ）

③健康マージャンは、高齡者の方にとってどのような効果が期待されると考えられるか。記事中の専門家の方の意見を参考に、説明しなさい。

例 高齡者の社会参加や脳機能の活性化、介護予防に効果的だと考えられる。

作問者：NIEアドバイザー 伊藤 大介（静岡聖光学院中学校・高校 教諭）

（中学校／社会、総合）